

第3回 洲本市 CATV 事業の在り方に関する審議会 概要

1. 内容説明

以下4項目について説明

- (1) 第2回審議会の議事概要
- (2) 洲本市 CATV のサービスレベル（コミュニティチャンネル・減免等）
- (3) 民間事業者への調査状況
- (4) 答申素案

2. 審議会中の意見・質問等

【質疑】

(1) について

Q.第2回審議会の議事概要の市ホームページ上での公開は何時ごろになるか。

→次回審議会の開催までに公開したい。

(2) について

Q.資料2-1、資料2-2、資料2-3を見ると、地域の細かいところまで実際に取材に行かれているが、職員の割り振りはどのようにになっているか。

→職員6～7名で担当している。

Q.今ケーブルテレビで放送されている行政放送はコミュニティチャンネルに含まれるのか。

→洲本市のケーブルテレビはチャンネル数を2つ持っており、その内の1つに含まれる。

Q.五色町全域が洲本市ケーブルインターネットしか加入できない地域ではなかったか。

→洲本市は市全域でインターネットサービスを提供しているので、ケーブルテレビの線がある場所は大体のところで加入できるが、民間事業者が提供するインターネットサービスは加入できる地域とそうではない地域がある。五色の一部の地域では洲本市ケーブルテレビのサービスしかインターネットの回線がない状況になる。

Q.使用料の減免については、民間移行したら制度が無くなるのか。

→ケーブルテレビ事業を引き継ぐ事業者に対して、今の市の減免制度が実施できるのか、できないのかというところから話が始まると思っている。減免制度を全く無しにするような話は、減免対象になる方にとって困るものであるので、何らかの形で減免を残す手段として、事業者がどこまで受けていただけるのか、市はどこまで負担するのかを交渉していくというところになる。社会情勢は創設当時と大きく変わっているが、今の減免規定はケーブルテレビ事業の

創設時から変わっていない。

Q.減免を受けている世帯の割合は分かるのか。

→令和7年3月末時点で全額・半額減免世帯の合計が1741世帯になる。

(3) について

Q.通信事業者に事業を引き渡す場合と有線放送事業者に事業を引き渡す場合で、コストの差は出てくるのか、その辺りで把握されていることがあれば示していただきたい。

→ある自治体は通信事業者を事業の引き渡し先に選んでこの程度の費用になった、違う自治体は有線放送事業者に事業を引き渡して、費用はこれだけ使ったとそれぞれ事例はあるが、規模や条件が同じ自治体ではなくそのまま比較することはできないので、比較検討は難しい。

(4) について

Q.資料3-1を見て事務局へ確認したいと思ったところが2点ある。

「現在のサービス提供地域を維持されたい」という部分が、放送に限る形なのか、通信も含んだ形という理解なのかというところ。

資料3-1の6番目の「地域の活性化に寄与できる事業所を選定されたい」ところは、具体的にどのようなことを事業者求めていくのかというところ。

→1つ目については、テレビ放送のサービス提供地域という意味で書いているが、インターネットサービスも同じように同じ地域で提供できるような形を希望している。そこを書き足すべきなのであれば、書き足したいと思う。

2つ目については、何か新しい取り組み、例えば今洲本市でやっていない見守りサービスであるとか、このケーブルテレビ網を使って何か取り組んでもらえるような民間事業者であれば良いという意味を含め、地域の活性化と書かせてもらった。

【意見・感想】

- ・基本的に事業の廃止はないという風に思う。廃止という選択肢はなかなか難しい。ケーブルテレビ事業の続け方の問題かと思っている。
- ・サービスレベルの維持という話の中で言えば、現在のサービスの中でこれを絶対に残さないといけないものの議論ができればと思う。
- ・本当に細かく地域の情報を取材していただいて、いつテレビをつけても、必ず何か地域の情報が出ている。個人的には楽しみに見ているが、これが維持できるのかどうかは少し不明な部分がある。
- ・コミュニティチャンネルでは私達が知らなかった情報を提供していただいていると思う。単なるイベントだけではなく、地域の歴史や文化や生物、自然等を情報発信されているので、これは本当に残していただきたい。
- ・ケーブルテレビ事業自体が無くなってしまうと、インターネット環境も無くなって情報を受けられない地域も出てくるかと思う。今はスマートフォンで情報が得られるという部分もあるが、地域の情報に関しては、例えば民間事業者に移行した際には、今の事業を引き継いでもらえるような事業者である方が良い。
- ・コミュニティチャンネルについては、年齢というか世代によって意見に差がある。若い世代に聞けば、ケーブルテレビを一切見ていないという人もいるが、高齢の方からするとコミュニティチャンネルが頼りという意見もあり、両極端な意見

になる。

- 色々な事業、例えば各地のお祭りや、防災、伝統芸能みたいなものを何らかの形で記録して残していくという必要性があると思っている。昔を振り返って紹介することが非常にあるので、そういう思いからも残して欲しい。
- 我々でもそうだが、若い方でもお子さんがコミュニティチャンネルに映るとか、運動会だとか卒業式だとかそういう部分を非常に楽しみに観てくれていると思う。
- この先、学校の統廃合が検討されているが、将来を見据えて学校での子どもたちの様子を見られる環境を残しておくことも重要であるとする。
- 答申としてはできたら民間移管したほうが良いというニュアンスを強めた方が良い。先程の議論からそういう風な感じであると思うので、ある程度決めた方が良い。

以上